たとえの秘密

シリーズ～新イエス～

2025/5/25

イエスを「語る」

行動

奇跡
癒し

言葉

教え

たとえ話

対話

祈り

イエスの「言葉」

- 教え（説教）

- 山上の垂訓やヨハネ福音書の後半にあるような直接的な教え

- たとえ話

- 比喩やたとえを用いた教え

- 対話

- イエスと一対一の対話、奇跡・癒しに伴うもの

- 祈り

- 「主の祈り」「大祭司の祈り（ヨハネ福音書）」「ゲツセマネの祈り」など

「たとえ話」について(資料)

•ユダヤ教の伝統的手法

- ラビ(ユダヤ教の教師)たちが用いた手法である

•イエスのたとえ話の特徴

- 福音書に記録されているものだけでも**50以上**
(比喩含む)
- シンプルだけど印象に残るストーリー
- 身近な題材

•テーマ

- 「**神の国**」が約半分(11回は終末に関係)
- 「罪人の改心」「富の使い方」「赦し」「高ぶり」「求め続ける」など

マルコ福音書4章1～12節

イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。おびただしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。イエスはたとえでいろいろと教えられ、その中で次のように言われた。

「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。

また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

イエスがひとりになられたとき、十二人と一緒にイエスの周りにいた人たちとがたとえについて尋ねた。そこで、イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密が打ち明けられているが、外の人々には、すべてがたとえで示される。それは、『彼らが見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、理解できず、こうして、立ち帰って赦されることがない』ようになるためである。」

たとえ話の秘密

- ストーリーは分かるが「意味」が分からない
 - 「イエスの周りにいた人たちがたとえについて尋ねた」<単なる農業の話ではない
- 選別のために語っている
 - 「あなたがたには神の国の秘密が打ち明けられているが、外の人々には、すべてがたとえで示される。」
- 神の言葉は認めて理解しなければ無意味
 - 『彼らが見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、理解できず、こうして、立ち帰って赦されることがない』(イザヤ6:10)

たとえ話の秘密

- ストーリーは分かるが「意味」が分からない
 - 「イエスの周りにいた人たちがたとえについて尋ねた」<単なる
- 選別のために語られる
 - 「あなたがたにははてしているが、外の人には示される。」
- 神の言葉は認めて理解しなければ無意味
 - 『彼らが見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、理解できず、こうして、立ち帰って赦されることがない』(イザヤ6:10)

たとえ話はその人の
神に対する姿勢を判
別するテストである

マルコ福音書4章13～20節

また、イエスは言われた。「このたとえが分からないのか。では、どうしてほかのたとえが理解できるだろうか。

種を蒔く人は、神の言葉を蒔くのである。道端のものとは、こういう人たちである。そこに御言葉が蒔かれ、それを聞いても、すぐにサタンが来て、彼らに蒔かれた御言葉を奪い去る。石だらけの所に蒔かれるものとは、こういう人たちである。御言葉を聞くとすぐ喜んで受け入れるが、自分には根がないので、しばらくは続いても、後で御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまう。

また、ほかの人たちは茨の中に蒔かれるものである。この人たちは御言葉を聞くが、この世の思い煩いや富の誘惑、その他いろいろな欲望が心に入り込み、御言葉を覆いふさいで実らない。良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて受け入れる人たちであり、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結ぶのである。」

「種を蒔く人」のたとえ

- イエスの解説がなければ普通の農業の話し
 - 「このたとえが分からないのか。では、どうしてほかのたとえが理解できるだろうか。」
- 「種」とは「神の言葉」
 - 神の言葉には種のような命があり、成長すれば豊かな実を結ぶ
- 「畑」とは受け取る側の心
 - 受け入れる心がよく耕されていれば(固くない・浅くない・誘惑されない)、神の言葉は芽を出し、根を張り、**成長して思いがけない豊かな実を結ぶ**

「たとえの秘密」を説明したたとえ話

- 実は「種蒔く人の」たとえはたとえ話の秘密を説明している
 - 分かりやすいストーリーだが、本当の意味は分からない
- 聞いた人たちが選別される
 - 実を結ぶかどうかでその人の「神に対する姿勢」が明らかになる
- この選別はこの世の終わりまで続く
 - たとえ話はイエスが残した「**テスト**」である
 - たとえ話を読むたびにこの仕掛けが発動する

だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。

マタイ福音書13章13節